

第46回原産年次大会の開催と取材について

平成25年3月28日

一般社団法人 日本原子力産業協会

日本原子力産業協会は「第46回原産年次大会」を下記のとおり開催いたします。つきましては、添付②の「取材について」の資料をご参照のうえ、事前の取材申し込みのお手続きをお願いします。

記

1. **会 期**：平成25年4月24日(水)～25日(木)
2. **会 場**：ニッショーホール（日本消防会館）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16
TEL 03-3503-1486
3. **基調テーマ**：原子力ゼロ？ —— 世界がつきつける日本の責務
4. **構成と内容**：添付①のプログラムをご参照ください
(大会当日まで変更が生じる場合もあります)
なお、最新情報は当協会ホームページに随時掲載しております。
5. **募集の種類・参加費**：
(会員) : 48,000円
(会員外) : 70,000円
(一般市民) : 2,000円
6. **添付資料**：
①第46回原産年次大会の開催について/プログラム
②第46回原産年次大会の取材について
③第46回原産年次大会 取材登録申込書
7. **本資料配布先**：(順不同)
文部科学省：科学記者会・文部科学記者会、経済産業省：ペンクラブ・経済産業記者会(経済部)、環境省：記者クラブ、外務省：記者クラブ
エネルギー記者会、外国人記者クラブ

8. 原産年次大会とは

原産年次大会は、日本原子力産業協会がその主要事業のひとつとして昭和43年以来開催している国際会議で、毎年国内外から約千名の参加を得ております。本大会は、エネルギー・原子力の平和利用上の重要な問題について、国内外の専門家を中心とする意見の発表、重要課題とその解決策を見出すための討論を行うとともに、原子力研究開発利用の進め方について国民の理解促進に資することを目的としております。本大会をより開かれたものとするため、原子力関係者だけでなく、広く一般市民の方々にも積極的に参加を呼びかけています。

9. 一般社団法人 日本原子力産業協会について

一般社団法人 日本原子力産業協会（会長：今井 敬）は、わが国のエネルギー問題における原子力利用の重要性を踏まえ、国民的立場に立って原子力の平和利用を進めるとの産業界の総意に基づき、政府が定める原子力政策の推進に協力し、原子力の平和利用を促進することによって、わが国の国民経済と福祉社会の健全な発展向上に資することを目的とする公益法人で、約460の会員で構成されている民間団体です。

なお当協会は、1956年以来活動を行ってきた社団法人 日本原子力産業会議が創立50周年を迎えたことを機に改組し、2006年4月に新たに発足したものです。

——< 本件お問い合わせ先 >——



(一社)日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部 木下、木室
〒105-8605 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー9F
Tel 03 (6812) 7103 Fax 03 (6812) 7110
Email media@jaif.or.jp
当協会HP <http://www.jaif.or.jp/>

以 上



第46回原産年次大会の開催について

平成25年4月24日(水)～25日(木)

当協会は、主要活動のひとつとして、国内外から広く関係者の参加を得て、毎年春に「原産年次大会」を開催しています。

年次大会では、エネルギー・原子力開発利用上の重要な問題についての意見発表や討論を行い、本大会を通して得られた重要課題とその解決策を見出すための指針をとりまとめ、国や産業界への問題提起、さらにマスコミ等を通じて広く社会へ発信することを目的としています。

福島第一原子力発電所の事故から1年後に開催した第45回大会では、事故から何を学び、再生に向けてどのように取り組むべきか、国内外関係者による講演や議論の中から重要なメッセージが発せられるとともに、福島県内の関係者による切実な問題提起や積極的な意見発信がなされました。以降、わが国では原子力・エネルギー政策の国民的議論が行われました。昨年12月の政権交代を経て、今後、新たなエネルギー基本計画の策定が行われることとなっています。

このような状況のなか開催する第46回大会では、日本にとっての原子力のあり方や国際社会における日本としての課題について考えるとともに、国民からの信頼感の構築および相互理解の促進に資する大会を目指します。

基調テーマ「原子力ゼロ? —— 世界がつきつける日本の責務」

4月24日(水)	4月25日(木)
開会セッション (9:30-13:00) ・今井会長挨拶 ・特別講演	セッション2 (9:30-12:30) 信頼の構築をめざして —— 世界と共に考える安全性 向上にむけた取組
セッション1 (14:30-18:00) エネルギーミックスの あるべき姿を考える —— 日本の選択	セッション3 (14:00-17:30) 復興への道筋 —— 海外の知見に学ぶ

◆大会会場 (4月24日(水)～25日(木))

ニッショーホール(日本消防会館)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 TEL03-3503-1486



一般社団法人 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1-2-8

虎ノ門琴平タワー9F

TEL 03(6812)7101

FAX 03(6812)7110

e-mail 46th-annual@jaif.or.jp

平成25年3月28日現在案

第46回原産年次大会 プログラム（案）

基調テーマ：原子力ゼロ？ —— 世界がつきつける日本の責務

平成25年4月24日(水)～25日(木)
ニッショーホール(日本消防会館)

開会セッション 4月24日(水) 9:30～13:00

2011年3月の福島第一原子力発電所事故により、原子力に対する国民の信頼は根底から損なわれた。このような民意を反映し、日本政府は将来的に原子力に依存しない電源構成を目指すことを決定した。

このセッションでは、政府の決定が、日本の国民生活や産業経済活動のみならず、国際社会にどのような影響を及ぼすのかなどについて、原子力を含むエネルギー問題や科学技術と社会の関係などの問題に造詣の深い各国・各機関を代表する専門家の方々からご講演いただき、日本の将来のエネルギー政策・原子力政策のあり方を考える。

◆原産協会会長所信

今井 敬 一般社団法人 日本原子力産業協会 会長

◆特別講演

- ・ ジャック レガルド 世界原子力発電事業者協会(WANO) 議長
- ・ 笠木 伸英 独立行政法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー
- ・ ピーター ファロス 欧州委員会(EC)原子力担当次長代理
- ・ アグネタ リーシング 世界原子力協会(WNA) 理事長
- ・ ハットン卿 英国原子力産業協会(NIA) 会長

セッション1	4月24日(水) 14:30~18:00
---------------	-----------------------------

エネルギーミックスのあるべき姿を考える —— 日本の選択

発展途上国の人口増加や新興国を中心とした経済発展により、世界のエネルギー需要は今後一層の増大が見込まれる。各国は、将来にわたる持続的発展をはかるため、エネルギー安定供給の確保、地球温暖化問題への対応、そして経済性を考慮し、適切なエネルギーミックスを確立すべく戦略的取組を強化している。

このセッションでは、国内外の専門家をお招きし、エネルギーの安定供給をめぐる諸課題についてそれぞれの立場から問題提起いただき、今後日本がグローバルかつ長期的視点に立ったエネルギー政策・原子力政策を議論する際の一助とする。

- ◆**議長**：田中 伸男 一般社団法人 日本原子力産業協会 理事
 一般財団法人 日本エネルギー経済研究所 特別顧問
 元 国際エネルギー機関（IEA）事務局長

◆講演

- ・葛西 敬之 東海旅客鉄道株式会社（JR東海）代表取締役会長
- ・クリストファー グイス 米国商工会議所 21世紀エネルギー研究所 副理事長
- ・知野 恵子 読売新聞 編集委員
- ・ファハド アルカータニ エミレイツ ニュークリア エナジー コーポレーション（ENEC）国際・広報担当理事（アラブ首長国連邦）
- ・ヴァーツラフ バルトウシュカ チェコ共和国外務省 エネルギー安全保障特使
- ・山地 憲治 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事

セッション2**4月25日(木) 9:30~12:30****信頼の構築をめざして ―― 世界と共に考える安全性向上にむけた取組**

福島第一原子力発電所の事故は原子力の安全性に対する社会の信頼を根底から損ねることとなり、世界の原子力開発計画に大きな影響を及ぼした。原子力の安全を根底から見直し、今回のような事故を二度と起こさないために、事故の教訓を世界で共有し、原子力発電所の安全性の向上に役立てていくことが求められる。

このセッションでは、現在世界各国で行われている安全性向上のための取組について情報共有し理解を深めるとともに、国際標準となりうる、頑強で信頼性が高く、より実効的・効果的・効率的な安全技術を確立し、一般公衆の信頼を再構築していくことの必要性について議論する。

◆**議長**：岡本 孝司 東京大学 大学院 工学系研究科 教授

◆講演

- ・デニス フローリー 国際原子力機関(IAEA) 事務次長
- ・アンドレ・クロード ラコスト 前 フランス原子力安全庁(ASN) 長官
- ・レオニード ボリショフ ロシア科学アカデミー原子力安全研究所 所長
- ・松浦 祥次郎 一般社団法人 原子力安全推進協会(JANSI) 代表

セッション3**4月25日(木) 14:00~17:30****復興への道筋 —— 海外の知見に学ぶ**

福島第一原子力発電所の事故から約2年が経過するが、未だに多くの住民の方々の帰宅の目処は立たず、福島の復興に向けた課題は山積している。被災した自治体の再生には、除染やインフラなどの居住環境の整備と共に、産業や経済の回復も必須であり、復興に向けた道筋を着実につけていくことが重要である。

このセッションでは、「福島の復興は世界と共に行うべき取組」との観点に立ち、これからも続く復旧・復興に向けた長い道のりのなかで、それぞれの関係者が果たすべき役割について、海外の知見も踏まえて考える。

◆**議長**：山名 元 京都大学 原子炉実験所 教授

◆パネル討論

- ・ジェリー トーマス インペリアル・カレッジ・ロンドン 教授
チェルノブイリ組織バンク 所長
- ・渡辺 利綱 大熊町長
- ・ボロディミール モスカレンコ ウクライナ コロステン市長
- ・石崎 芳行 東京電力株式会社 代表執行役副社長 福島復興本社代表
- ・浜田 昌良 復興副大臣

以 上

第46回原産年次大会の取材について

1. 取材申し込みについて

取材申込書に必要事項を記入の上、FAXまたはe-mailにてお申し込みくださいますようお願いいたします。

大会当日、会場受付にて、お名刺のご提出をお願いいたします。その際、プレス用のネームカードと大会関係資料をお渡しいたします。

会場内ではネームカードを必ずご着用願います。

※ 4月19日（金）までに事前登録をお願いいたします。

2. プレスルーム（報道室）の開設

本大会開催中、「プレスルーム（報道室）」を開設いたします。講演者の発表資料等はプレスルームにて配布いたします。また、モニターTVを設置しますので、会場での講演がご覧になれます。また、PC用のネット環境を設置します。

3. 講演者等への取材

来日講演者等への個別取材のご希望がありましたら、4月17日（水）までに下記の担当へご連絡ください。可能な限り仲介し調整いたします。

なお、海外講演者取材のための通訳の手配を希望される方は、あわせてご連絡ください。（日英逐次 通訳手配料@5,000円/30分）

4. 記者会見等について

大会期間中に一部の講演者等の共同記者会見を予定しております。

現在、4月24日（水）午後6時15分から記者会見室にて海外講演者の一部と当協会の服部理事長による共同会見を予定しています。

その他の会見についての詳細は、決まり次第あるいは当日掲示にてお知らせします。

以上

本件担当者



(一社)日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部 木下、木室

〒105-8605 東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー 9F

Tel 03 (6812) 7103 Fax 03 (6812) 7110

Email: media@jaif.or.jp

「第46回原産年次大会」の取材登録申込書

申込締切日：平成25年4月19日(金)

取材に際しては事前登録が必要です。

撮影などで入場される方も含め全員のお名前の登録をお願いします。

当日は、お名刺を会場受付にてご提出くださいますようお願いいたします。

社名			
ご連絡担当者 (ご所属)			所属記者クラブ
連絡先	TEL		E-mail

お名前	取材希望			撮影について	
	4月24日	4月24日 共同会見	4月25日	スチル	ビデオ

- ※取材日・共同会見それぞれのご出席希望をご記入ください。
- ※共同会見は、4月24日(水)午後6時15分から記者会見室を予定しています。
- ※太枠内にご記入の上、FAXまたはメールでご返送ください。

本件お問い合わせ先

日本原子力産業協会情報・コミュニケーション部 木室(きむろ)

電話：03-6812-7103

E-mail: media@jaif.or.jp

本紙返送先

FAX：03-6812-7110

E-mail: media@jaif.or.jp